

乗合バスのバリアフリー化について

移動等円滑化の促進に関する基本方針(平成18年12月15日告示)において、バス車両(現時点においては、総車両数約6万台)に関し、「平成27年までに、原則として総車両数約6万台のすべてについて、低床化された車両に代替する。また、総車両数の約30パーセントに当たる約1万8千台については、平成22年までに、ノンステップバスとする。」とされております。

平成22年3月末現在、バス総車両数に占めるノンステップバスの割合は対前年約3%増の25.8%となっております。

ノンステップバス等の車両数の推移

(平成22年3月末現在)

(単位:台)

平成 年度 末	うち ノンステップバス			低床バス			リフト付バス			乗合バス 総車両数
	車両数	総車両数比	指数	車両数	総車両数比	指数	車両数	総車両数比	指数	
4	—	—	—	62	0.1%	—	56	0.1%	—	63,857
5	—	—	—	71	0.1%	—	95	0.2%	—	63,263
6	—	—	—	150	0.2%	—	141	0.2%	—	62,568
7	—	—	—	231	0.4%	—	171	0.3%	—	61,861
8	19	0.0%	—	461	0.8%	—	235	0.4%	—	61,171
9	145	0.2%	—	840	1.4%	—	260	0.4%	—	60,354
10	433	0.7%	—	1,395	2.3%	—	278	0.5%	—	59,426
11	840	1.4%	—	2,115	3.6%	—	290	0.5%	—	58,689
12	1,289	2.2%	100.0	2,877	4.9%	100.0	326	0.6%	100.0	58,348
13	2,294	3.9%	178.0	5,105	8.8%	177.4	407	0.7%	124.8	58,273
14	3,835	6.5%	297.5	8,095	13.8%	281.4	488	0.8%	149.7	58,801
15	5,432	9.3%	421.4	10,492	18.0%	364.7	564	1.0%	173.0	58,335
16	6,974	12.0%	541.0	13,144	22.6%	456.9	605	1.0%	185.6	58,119
17	8,639	14.8%	670.2	16,237	27.8%	564.4	682	1.2%	209.2	58,430
18	10,389	17.7%	806.0	19,434	33.1%	675.5	714	1.2%	219.0	58,735
19	12,216	20.3%	947.7	22,578	37.5%	784.8	745	1.2%	228.5	60,252
20	13,822	23.0%	1,072.3	25,038	41.7%	870.3	800	1.3%	245.4	59,973
21	15,298	25.8%	1,186.8	27,177	45.8%	944.6	839	1.4%	257.4	59,359

(注1) 「低床バス」は、床面の地上面からの高さは65cm以下であって、スロープ板及び車いすスペースを1以上、乗降口と車いすスペースとの間の通路の有効幅は80cm以上であること等、バリアフリー新法の移動等円滑化基準に適合するバスをいう。

(注2) 「ノンステップバス」は床面の地上面からの高さが概ね30cm以下であって、バリアフリー新法の移動等円滑化基準に適合するバスをいう。

(注3) 「リフト付バス」は、中扉に設けられたリフトを使って、主に車いす使用者の乗降を円滑に行うことができるバスをいう。

(注4) 指数は、交通バリアフリー法が制定された平成12年度を100とする。

(注5) 低床バス及びノンステップバスについては、バリアフリー新法の移動等円滑化基準の適合車両のみ掲載した。

(注6) 乗合バス総車両数は、移動円滑化基準適用除外認定を受けた車両を含む速報値。

台

ノンステップバス等の車両数の推移

